



2年生図書委員*お薦めの一冊

『なぜ子供のままの大人が増えたのか』

曾野 綾子 著 (大和書房)

・・・何なんだろう、あの人は、どうしてあんなこと言うのか。常識がないのではないか。あー、腹が立つ・・・。そんな経験はありませんか？自分はそんな大人にはなりたくないと思いませんか？広い視野を持つことは、他人との関係を良好に保つために必要なことでもあります。

この本には、外国の文化や考え方と日本のそれらとの比較や社会問題などから見えてくる、大人らしい大人になるために必要なことが、広い視野で分かりやすく書かれています。きっと、なりたい大人になるためのヒントを与えてくれるでしょう。そして私は、わずかながらも、日常の鬱憤を晴らすことができました(このことに関しては個人差あり)！(S)

『春期限定いちごタルト事件』 米澤 穂信 著 (東京創元社)

高校生の小嶋さんと小佐内さんは、共に小市民を目指す互恵関係。ところがある日、小佐内さんの自転車が盗まれたことを切っ掛けに二人は事件に首を突っ込んでしまい・・・。映画化も決定した『氷菓』(東京創元社)で有名な米澤穂信が描く、もう一つのほろ苦い青春ミステリーです。(F)

『終末のフール』 伊坂 幸太郎 著 (集英社)

小惑星の衝突により、地球が滅亡すると告げられた人々の生活を描いた物語です。短編集ですので、気軽に読むことができます。(F)

『関ヶ原』 司馬 遼太郎 著 (新潮社)

天下人の秀吉の死後に起こった天下分け目の決戦を、徳川家康、石田三成などの多くの武将の視点から書いた作品です。表向きは豊臣家に忠実な態度を示し謀略をめぐる家康から豊臣家を守ろうと、知恵を用いて立ち向かう三成の駆け引きが見所です。興味のある方は、ぜひ読んでみてください。(K)

『アクロイド殺人事件』 アガサ・クリスティ 著 (東京創元社)

推理小説ファンの皆さんにはおなじみのアガサ・クリスティの代表作です。キングス・アボット村の大富豪フェラーズ夫人が亡くなります。夫人は未亡人で、村のもうひとりの大富豪ロジャ・アクロイドと再婚の噂がありました・・・。さあ、あなたも名探偵エルキュール・ポアロとともに、クリスティからの挑戦状に挑んでみましょう！何度読んでも楽しめる本です。(K)

『星やどりの声』

朝井 リョウ 著 (KADOKAWA)

この物語に描かれているのは三男三女母一人の大家族。亡くなった父が家族に残したものは、天窓のある喫茶店でした。

雨から身を守る雨やどりのように、今にも落ちてきそうな星の光を受け止める星やどり。父が残した喫茶店「星やどり」に、まるで星の光が降りそそぐように、父が仕掛けた奇跡が降りそそぎます。そんな家族に訪れる奇跡とは・・・。

深い家族愛と、将来に対する漠然とした不安を解消し、前に踏み出す勇気と希望がもらえる一冊です。(N)

『何者』 朝井 リョウ 著 (新潮社)

自分を生き抜くために本当に必要なことは何なのか。この世界を組みかえる力は、どこから生まれてくるのか。

朝井りょうの『何者』は、就活の情報交換を切っ掛けに集まった拓人、光太郎、瑞月、理香、隆良の5人の就活を通じて本当の自分、自分のいる社会に向き合う物語です。この小説は直木賞を受賞し、映画化もされました。自分自身や人間関係、そして社会のことを考え直してみたい一冊です。(O)

12月の貸出統計*525冊



学年 組	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	22	45	55	27	77	50	16	25	8	0	5	5	29	49	62	4	0	4	1	6	2	23	0	10
合計	317冊								162冊								46冊							

ご近所出身の偉人たち 大山 巖 (1842~1916)

1842(天保13)年、下加治屋町に生まれた大山(幼名を岩次郎のちに弥助)は、西郷隆盛の従弟にあたります。大山も幼い時に、郷中教育で読み書きや薩摩の武士としての心のあり方を学びます。

1862(文久2)年大山19歳の時、有馬新七などと寺田屋事件に加わり謹慎を命ぜられます。また、翌年の薩英戦争では、すいか売り決死隊に加わり、英旗艦ユーリアスに乗り込んだりして、大山も「何かをせねば・・・」と必死に戦っていました。こうした大山の働きが認められ、1870(明治3)年、新政府に登用され陸軍大佐となり、外国の軍隊の視察に派遣されます。欧州視察後、もう一度軍事制度の研究のために、フランス留学を政府に申し出ます。留学から帰国した大山は、東京鎮台司令官となります。西南の役では、城山攻撃の攻城砲隊司令官として従弟の西郷と戦うこととなり、つらい戦争となりました。

1885(明治18)年、それまでの太政官制度に代わって、内閣制度が導入され、初めて発足した第一次伊藤博文内閣では初代陸軍大臣に就任します。日清・日露戦争での活躍によって元帥公爵という最高の地位が与えられました。

1916(大正5)年、11月10日に永眠。国葬が行われ、栃木県西那須野に葬られました。

参考文献『学校周辺の史跡めぐり』『加治屋町の偉人たち』鹿児島県立鹿児島中央高等学校 発行
『鹿児島の先人たち』鹿児島県教育出版 発行

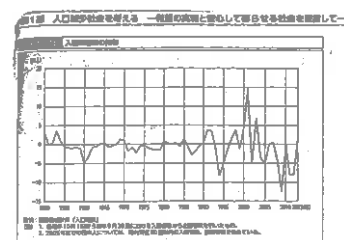
考える読書 書くための読書

- ・海外留学をする日本人学生数が減少傾向にある理由、学生が**国際的感覚**を身につけるための方法を述べる。(1200字)
- ・文学におけることばは**経験や状況**を喚起することで感動をよびますと述べた文を読み、考えなどを書く。(600字)
- ・日本における**外国人労働者や移民の受け入れ**について、賛成か反対かを理由も含めて述べる。(1000字)
- ・今の中学生が学校生活のなかで悩んでいることを述べ、そのような中学生が必要とした支援について書く。(1200字)
- ・**震災時**に体力と精神力を支える食の力は大きいと説く文より、震災時の食における課題は何かを述べる。(400字)
- ・日本人の物質的豊かさや貧困率の悪化を述べた文と図を要約し、自分にとって**豊かさ**と**何か**を論じる。(1200字)
- ・日本人の**魚介類摂取量の推移**に関する図を読み取り、年齢に着目して今後の日本の水産物消費について述べる。(520字)
- ・**エネルギーの安全確保と気候変動問題**の取組を紹介する文より、自分が注目する科学技術などを述べる。(900字)
- ・ある**災害**を想定して防災または救助や復旧に役立つ**機械装置**や**システム**の考察について、具体的に述べる。(800字)
- ・**地域医療**の再建に成功した病院や地域を記す文の内容説明などをし、地域の医療再生に共通する考え方を書く。(550字)
- ・**ネット**と**少子化**により繊細な**コミュニケーション**が苦手の若者が増えているという文より、考えなどを書く。(600字)

上記は2015年度の推薦入試の小論文テーマの抜粋です。(Benesse マナビジョンより抜粋) 知識がなければ書けそうにもないテーマと思いがちですが、どれも新聞やニュース解説等の番組で話題になったものばかりです。新聞は読まない、テレビのニュースも見ない・・・という人にとってはハードルの高い問題なのかもしれません。受験勉強だけではなく、世の中で起きていることを日頃から考えておくことが大切だということでしょうか。

小論文を書くためには、**新聞**や**雑誌**などから収集した情報を、より深く掘り下げるためにも**新書**や**ブックレット**などからの知識も必要です。希望する大学の過去の問題のキーワードを参考に、本を探してみましょう。図やグラフを読み取る問題も数多く出題されています。**図やグラフに慣れるには白書**を活用してください。図書館の廊下には白書が揃っています。図やグラフの解説を読むことで、多くのことを読み取れるようになります。

新聞や雑誌もたいせつな資料です。図書館には**南日本・朝日・毎日・日経**の4紙があります。新聞を読む習慣もつけましょう。また雑誌『**AERA**』(朝日新聞社)の特集も参考になります。コツコツ努力して知識を蓄積していきましょう!



白書は参考になりやすい



編集後記

寒い季節となりました。3年生の皆さんにとって集大成の時が迫ってきました。鹿児島中央高校で培った底力を発揮してください。体調管理も忘れずに!!